



スクールリポート

SCHOOL REPORT 46

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での浄化活動で魅力ある学校づくりに取り組む様子と、短縄・長縄大会の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

赤羽根小学校「環境教育」 太陽光を利用して水質浄化

赤羽根小学校では、平成23年10月に、再生可能エネルギーである太陽光を利用して水質を浄化する装置を、新たに観察池へ設置しました。この装置は、太陽光で発電したエネルギーを利用して水をくみ上げ、水車を回して水をきれいにしています。

観察池は、赤羽根小学校同窓会の支援を得て昭和52年に設置しました。池の形は、愛知県を表し、コイやフナをはじめさまざまな生物が生息しています。

昨年度から、低学年の生活科や中高学年の理科などで観察池の活用を始めました。特に再生可能エネルギー利用の学習では、実際の装置を見ながら、効果的な省エネ学習ができると期待しています。



●池の生物を観察する1年生たち

※再生可能エネルギーとは、太陽光や風力、水力など、何度でも繰り返し使うことができるエネルギーのことです



●どの子も真剣に新記録を目指しています



●みんなでタイミングを合わせて跳びます

堀切小学校「短縄・長縄大会」 寒さに負けず目指せ新記録！

堀切小学校では、毎年の恒例行事として、短縄大会と長縄大会を行っています。

2月8日には、短縄大会を開きました。前跳び・後ろ跳び(全学年)、あや跳び(低学年)、二重跳び(中学年以上)のそれぞれの種目で、校内新記録や自己新記録に挑戦しました。制限時間は3分間。低学年には高学年が付いて、数を数えます。「がんばって！」「まだ時間があるよ！」と、温かい声援が飛び交っていました。高学年のような跳び方ができることが、低学年の子どもたちの目標です。

また、2月23日には、たてわり班対抗で長縄大会を開きました。全校児童が、この日のために毎日、昼放課に練習しました。大会では、八の字跳びで3分間を2回跳び、その合計で競いました。どの班も、今までの練習の成果を発揮し、自分たちの記録を更新する元気な堀切っ子、の姿が見られました。